

### (3) 年齢構造指数の推移

年少人口指数は20.4で前年より0.2ポイント低下した。老年人口指数は37.0で前年より0.4ポイント上昇した。年少人口指数は平成2年以降大きな変化は見られない。

一方、老年人口指数であるが、昨年に引き続き年少人口指数を上回った。

従属人口指数は前年より0.2ポイント上昇し57.4となった。また、老年化指数は前年より3.7ポイント上がり181.8となった。

$$\text{年少人口指数} = \frac{\text{年少人口 (0~14 歳)}}{\text{生産年齢人口 (15~64 歳)}}$$

$$\text{老年人口指数} = \frac{\text{老年人口 (65 歳以上)}}{\text{生産年齢人口 (15~64 歳)}}$$

$$\text{従属人口指数} = \frac{\text{年少人口 (0~14 歳)} + \text{老年人口 (65 歳以上)}}{\text{生産年齢人口 (15~64 歳)}}$$

$$\text{老年化指数} = \frac{\text{老年人口 (65 歳以上)}}{\text{年少人口 (0~14 歳)}}$$

【表8】 年齢構造指数の推移

各年1月1日現在

年次 指数	昭 60	平 2	7	12	17	22	26	27	28	29	30	31	令 2	令 3	令 4
年少人口指数	27.7	22.0	19.8	19.8	20.4	20.3	20.0	20.1	20.2	20.3	20.4	20.5	20.5	20.6	20.4
老年人口指数	9.6	11.8	15.1	20.0	25.2	30.4	33.1	34.4	35.0	35.4	35.9	35.9	36.2	36.6	37.0
従属人口指数	37.4	33.8	34.8	39.8	45.6	50.6	53.1	54.5	55.2	55.8	56.3	56.4	56.8	57.2	57.4
老年化指数	34.7	53.8	76.3	100.9	123.2	149.9	165.3	170.9	173.4	174.5	176.1	175.4	176.6	178.1	181.8